

現行計画の実績について

【目次】

1	生活支援	
(1)	相談支援の充実	2
(2)	日常生活支援の充実	3
(3)	障害福祉サービス提供体制の充実	3
(4)	スポーツ・文化芸術活動等の場の充実	4
2	自立支援	
(1)	療育支援体制の充実	5
(2)	インクルーシブな育成支援体制の構築	6
(3)	雇用・就業に向けた支援の充実	7
(4)	外出支援の充実	8
3	環境整備	
(1)	暮らしやすいまちづくりの促進	8
(2)	安全・安心の確保	10
(3)	情報提供の充実	11
(4)	権利擁護の推進	11

姫路市障害福祉推進計画 施策体系図

【基本理念】

“障害のある人もない人も、共に、自分らしくいきいきとした人生を送ることができる社会（共生社会）づくり”

1 生活支援

- (1) 相談支援の充実
- (2) 日常生活支援の充実
- (3) 障害福祉サービス提供体制の充実
- (4) スポーツ・文化芸術活動等の場の充実

2 自立支援

- (1) 療育支援体制の充実
- (2) インクルーシブな育成支援体制の構築
- (3) 雇用・就業に向けた支援の充実
- (4) 外出支援の充実

3 環境整備

- (1) 暮らしやすいまちづくりの促進
- (2) 安全・安心の確保
- (3) 情報提供の充実
- (4) 権利擁護の推進

1 生活支援

(1) 相談支援の充実

(★)…重点施策

施 策

- ・ 相談支援体制の充実 (★)
- ・ 精神障害のある人への相談支援の提供
- ・ ピアカウンセリング情報の提供
- ・ 総合福祉会館（仮称）の整備
- ・ 関係機関の連携強化 (★)

施策内容・実績（令和元年度）等

- ・ 相談支援専門員を対象とした事例検討会やテーマ別研修を実施することで、相談支援事業所の質の向上に努めた。（相談支援事業所全体会 2 回、テーマ別研修 4 回、事例検討会 3 回実施）
- ・ 相談支援従事者初任者研修受講者を対象にビギナーズ講座を開催し、経験の浅い相談支援専門員のフォローアップに努めた。（講座受講者 22 人）

保健所では、様々な相談や交流会・学習会等を実施している。主なものは以下のとおり。

- ・ 専門医によるこころの健康相談（来所型・訪問型）の実施（来所型 74 件、訪問型 1 件）
- ・ 精神保健相談員や保健師によるこころの健康相談（訪問・面接・電話による相談：延 6,976 人）
- ・ 断酒会員を交えてのアルコール問題相談（21 件）
- ・ 保健所精神保健福祉相談員・保健師による相談件数（延 6,976 件）
- ・ 専門医によるこころの健康相談（36 回：74 件）
- ・ 断酒会員を交えてのアルコール問題相談（24 回：21 件）
- ・ 断酒会（47 回：延 779 名参加）
- ・ 姫路精神障がい者家族連合会（定例会 10 回：延 252 人）
- ・ ひきこもり家族学習会、交流会（家族学習会 16 回：延 186 名、交流会 5 回：38 名）
- ・ 支援者研修会（3 回 289 名参加（うち、1 回はピアサポーターによる体験報告を実施））
- ・ 精神障害者ピアサポーターの活動支援（定例会 6 回、活動 5 回）
- ・ 難病交流会（12 回/年実施。10 団体、延 125 人参加）
- ・ 疾患別患者交流会（延 17 回/年実施。5 団体、延 187 人参加）
- ・ 難病学習会（1 回/年実施。10 人参加）
- ・ 難病相談（12 回/年実施。相談者数 6 人）
- ・ 難病相談会（1 回/年実施、相談者延 173 人。炎症性腸疾患医療相談会 1 回実施、230 人参加）

平成 31 年 4 月に姫路市総合福祉会館の供用開始。福祉情報センター機能も併せて以下の事業を開始した。

- ・ 会館の管理運営
- ・ 福祉情報センター機能の充実
 - (1) 福祉総合相談窓口における相談支援
福祉つながる窓口相談件数 342 件
 - (2) 専門職の連携による包括的相談支援体制の構築
包括的相談支援体制検討会議開催（5 回）

地域共生フォーラム開催(1回)

- ・福祉に関する情報発信
- ・福祉ボランティア活動への活動支援
- ・障害者とその支援者の交流の場の提供
- ・福祉関係団体への事務所の提供
- ・福祉関係者の諸会合のための会議室の提供

(2) 日常生活支援の充実

施策

- ・医療的ケアが必要な人への支援の充実
- ・補装具・日常生活用具等の有効活用
- ・各種手当等の支給による経済的負担の軽減
- ・幅広い層への支援の充実
- ・家庭への支援体制の充実

施策内容・実績（令和元年度）等

心身に重度の障害のある医療的ケアが必要な人などに対する支援の充実が求められるため、様々な助成制度や手当を支給している。

- ・重度障害者（児）医療費の助成件数（96,380件）
 - ・障害者福祉金、重度障害者（児）介護手当、特別障害者手当、障害児福祉手当、特別児童扶養手当の支給
- 障害者（児）歯科診療の実施
- ・障害により一般の歯科医院では治療が困難な障害者（児）に対し、歯科診療、相談等を毎週水・木曜日午後2時～5時に実施。
 - ・療養介護医療費の支給（延支給件数1091件）
 - ・高齢重度障害者医療費の助成（助成件数108,107件）

(3) 障害福祉サービス提供体制の充実

施策

- ・障害福祉サービス事業所等の充実
- ・事業所指導等及びサービス従事者研修等の充実
- ・姫路市立障害者支援センターの充実
- ・共生型サービスの検討

施策内容・実績（令和元年度）等

実地指導・監査実績は下記のとおり。

- ・実地指導（監査）実績（障害者支援施設 8、障害福祉サービス事業 60、障害児通所支援事業 12）
- ・従事者への研修は、他業種と合同で、初任職員研修、中堅職員研修・感染症対策・食中毒予防研修に関する研修を実施し、サービス従事者の質の向上に努めた。

- ・市ホームページ等による第三者評価情報の提供

- ・姫路市立障害者支援センターの充実

(1) 自立訓練

民間事業所では担い手が少ない事業であり、利用者受け入れ増だけではなく、サービス内容充実のために多機能事業所としてのメリットも活かし、就労移行支援事業と連携しながら将来の就職や自立につながるよう生活技術と日常生活能力の向上を目指した支援を実施

(2) 就労移行支援

就労移行支援事業の実施においては、利用者のニーズを尊重しながら、一般就労に向けた能力向上のための訓練、求職活動の支援を行うべく実習先事業所を選定、体験的学習から就職を目的とした実習へと展開を図った。

(3) 生活介護

利用者受け入れ増だけではなく、サービスの内容充実のため、高齢化、障害の重度化への対応のほか、特に強度行動障害者の受け入れを積極的に行うことで公立施設としての責務を果たしている。

(4) スポーツ・文化芸術活動等の場の充実

施策

- ・健康の増進や活動意欲の高揚
- ・様々な活動への参加促進
- ・団体・施設等の活動の支援

施策内容・実績（令和元年度）等

- ・障害者体育館について、令和元年度の利用者数は 13,911 人（障害者 7,230 人 その他 6,681 人）であった。

- ・「兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会（平成 31 年度大会）」

車いすの部、水泳の部、卓球の部、ボウリングの部・陸上の部・フライングディスクの部等 16 種目 20 人が出場した。

- ・ジョイフルスポーツフェア

令和元年 11 月 9 日に MIYACOCO みなとドームにおいて開催参加人数 357 人（障害者 261 人、引率者 96 人）

- ・総合福祉通園センター利用者を含め、スポーツに興味がある市内の障害者を対象に、スポーツ教室を実

施（スポーツ教室 624 人、スポーツのつどい 32 名）

- ・ルネス花北芸術祭の開催
令和元年 11 月 2 日～4 日で開催。来場者数 815 人、展示作品 130 作品を展示した。
- ・障害者料理講習会について、聴覚障害者及び視覚障害者の方に対してそれぞれ年 6 回ずつ開催することができた。（毎回 5～15 人ほど参加者あり）
- ・障害者団体・施設が実施するスポーツ・文化活動に対して後援を実施。（後援件数 15 件）

2 自立支援

(1) 療育支援体制の充実

施策

- ・地域における療育支援体制の充実（★）
- ・児童支援に関する窓口の設置
- ・「総合福祉通園センター・ルネス花北」の機能強化

施策内容・実績（令和元年度）等

障害児等療育支援事業

・特に来所前や来所初期の段階の発達が気になる子どもとその家族への支援に重点をおき、子どもに対しては発達検査や知能検査を実施して客観的評価、指導を行い、本人や保護者には相談対応を始めとした様々な支援を行っている。

利用者支援事業

・個々の相談に丁寧に対応し、相談内容や療育支援等の必要に応じて、ルネス・ぱっそ kids・保健所等の専門機関との連携を図り、保育所・こども園等の案内を行った。窓口・電話のみならず、市内の子育て施設、保健所等へ出張相談を展開した。

乳幼児発達支援

・乳幼児健診・相談等において、受診者全員に個別に相談を実施し、保護者の相談等に対応しその後も継続して支援をしている。

- ・発達クリニック（市内 1 か所、年 6 回実施、延相談者 25 人）
- ・育児教室（市内 3 か所、年 33 回実施、延参加者 233 人）
- ・心理相談（市内 3 か所、年 38 回、延相談者 275 人）
- ・子育て世代包括支援センター相談員による発達に関する相談（延相談件数 31 件）

総合福祉通園センタールネス花北の機能強化について

姫路市の子育て支援情報や子育て支援機関からの情報提供等で、子育てに悩む保護者にとって身近な相談

機関として機能している。

地域子育て支援拠点事業（ぱっそ kids）の実施（来所相談延 972 件、電話相談（新規）118 件、電話相談（継続）173 件）

保育所等訪問支援事業（訪問件数 白鳥園…49 件、つくし児童園…2 件）

- ・ 児童発達支援センターに通園する中で、子どもに対する関わり方のアドバイス、様々な講義や勉強会、保護者同士の交流などを通じて保護者の主体的な子育てをサポートする取り組みを行った。
- ・ 通常の通園形態以外に、親子通園による週 1 回のグループを 3 グループ運営した。また、障害告知後の親子に契約外で個別、グループによる保育、相談対応を実施した。一般保育所等に併行通園している子どもには、適宜在籍園との情報交換や訪問を行った。

実績	つくし児童園	（1 日利用定員 40 人）	利用契約者数 44 人
	白鳥園	（1 日利用定員 30 人）	利用契約者数 37 人
	個別対応	（契約外）	56 人
	グループ対応	（契約外）	33 人

(2) インクルーシブな育成支援体制の構築

施策

- ・ インクルーシブ教育システムの構築（★）
- ・ 保育体制の充実（★）
- ・ 教育体制の充実
- ・ 子どもの活動の充実

施策内容・実績（令和元年度）等

特別支援教育コーディネーターを中心とした教育支援体制の充実

- ・ 特別支援教育コーディネーター対象の説明会や研修会を実施し、専門性の向上に繋げた。また、特別支援推進委員会を開催し、事例検討や情報交換を通して、個に応じた継続的な教育的支援に繋げた。

障害者差別解消法の周知・啓発について、令和元年度は以下の事業を実施。

- ・ 啓発用ポケットティッシュを作成し、各所で配布
- ・ 庁内貸出用として使用するための携帯型ヒアリンググループ及びデジタル集音器を購入
- ・ 事業者向け啓発パンフレットを作成し、市内の事業所 約 8,000 社に配布（手話言語条例、ヘルプマークの内容含む。）

発達サポート訪問の充実

- ・ 訪問要請に速やかに対応し、保育所・こども園の相談内容に対して、支援を要する子どもだけでなく、保育の質そのものの向上に繋がる助言を行った。（訪問回数 30 回、相談件数 67 人）
- ・ 8 人の保育パートナーを指名し、依頼を受けた施設への「派遣」と特別支援保育事業において要支援児としてこども保育課に報告を受けた施設への「訪問支援」を実施した。（派遣訪問数 16 回、相談件数 36

人)

発達支援コーディネーター研修の実施

- ・ 公立保育所・こども園対象、公立・私立保育所・こども園・公立幼稚園対象等公私を超えた年間研修計画を立てて実施。
- ・ 8月と1月に公立・私立保育所及びこども園、公立幼稚園対象の研修会を実施
- ・ 8～10月：公立保育所・こども園を対象に3グループに分かれて現場研修を実施

特別支援教育支援員の配置

- ・ 特別支援教育支援員として、幼稚園13園に11人、小学校・義務教育学校（前期課程）56校に83人、中学校・義務教育学校（後期課程）18校22人、計116人を配置

特別支援学級担任研修の実施

- ・ 令和元年8月23日に総合教育センターで実施。（受講者数83人（小61人、中16人、義務6人））

特別支援教育コーディネーター研修の実施

- ・ 令和元年11月19日に総合教育センターで実施。（受講者数131人（幼32人、小64人、中30人、義務3人、特支2））

(3) 雇用・就業に向けた支援の充実

施策

- ・ 一般就労と職場定着に向けた支援の強化（★）
- ・ 一般就労に向けた訓練の場の充実（★）
- ・ 雇用機会の拡大に向けた情報提供の充実、市役所での障害者雇用
- ・ 授産品の振興に向けた取り組み
- ・ 就労継続支援事業所の適正な事業運営の確保（★）

施策内容・実績（令和元年度）等

就業促進・安定化事業の実施

職業自立センターひめじを中心に、障害者自らが就労意欲と能力に応じて職業生活を設計・選択ができるよう、個々の利用者に応じた支援プログラムに基づいて各関係機関が連携して総合的な支援を行う。計91人が一般企業への就職に至っている。

採用試験の実施

計画的な障害者新規採用により、法定雇用率（2.5%）を達した。

障害者新規採用4人（令和2年4月1日採用）

障害者雇用率2.57%（令和元年6月1日時点）

ひめじは一とふるSHOPの継続

公共施設において、授産品の展示・販売（ひめじは一とふるSHOP）のスペースを提供した。（2か所本庁舎1階ロビー及びすこやかセンター）

(4) 外出支援の充実

施策
<ul style="list-style-type: none">・視覚、聴覚及び言語機能等に障害のある人の外出支援・身体障害者補助犬の利用促進・多様な外出支援の推進
施策内容・実績（令和元年度）等
障害者ガイドマップの周知 市内の施設等へバリアフリーの整備状況についての調査を実施した。また、「車いすガイドマップ」を窓口へ掲出するとともに、ホームページの情報の更新を行い情報の周知を図った。
身体障害者補助犬健康管理費等支給事業の実施（現在1人が利用）
同行援護事業、移動支援事業及び意思疎通支援事業等の充実を図ることにより、外出の支援を推進している。
障害者バス等優待乗車助成事業、重度身体障害者福祉タクシー料金助成事業、障害者自動車燃料費助成事業等の実施により、外出を支援している。

3 環境整備

(1) 暮らしやすいまちづくりの推進

施策
<ul style="list-style-type: none">・地域生活を支援するための環境整備（★）・関係機関の連携強化による地域移行の推進（★）・住宅改造費助成の活用・バリアフリー化の推進・市営住宅への受け入れの推進・手話への理解と普及の促進、環境整備
施策内容・実績（令和元年度）等
保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置
<ul style="list-style-type: none">・保健センター・保健センター分室で退院後生活支援事業を実施：104件・保健医療福祉連絡会議を開催：1回

交通安全施設等の整備

- ・水上 80 号線外 1 路線で点字ブロック 285m を新設
- ・幹第 43 号線において、無電柱化の完成に向け、事業を推進
- ・城北 72 号線、幹第 22 号線において、歩道等を整備し、歩行者等の安全を確保した。
- ・歩道等の整備に向け、高岡 73 号線ほか 2 路線において、事業を推進した。
- ・幹第 39 号線外 2 路線の歩道改良工事を 598m 行い、段差を解消。

学校園等のバリアフリー化の推進

- ・令和 2 年 2 月に竣工した姫路市立中寺こども園は、段差がないバリアフリー施設とすることができた。またトイレについても建替え前の施設では和式トイレが 5 基あったが、建替え後は全て洋式トイレになった。
- ・大規模改修工事の際、多目的トイレや手すり、スロープ等を設置している。その他維持修繕工事でも手すり、スロープ等を設置している。また、平成 29 年度よりトイレだけの改修にも取り組み、令和元年度は 10 校のトイレ改修が完了した。

放置自転車に対して警告を行った後、撤去を行う事業を実施した。また、市営の無料駐輪場については市職員が巡回を行い、駐輪場の整理を実施した。

(令和元年度放置自転車の撤去台数：約 2,300 台)

バス事業者がノンステップバス車両等を購入する経費の一部を補助

(補助実績 大型バス 2 台、大型ハイブリッド 4 台)

市営住宅入居の優遇取扱い

一般住宅、単身者用住宅、高齢者用住宅に申込みをされた方のうち、一定条件に該当する方については、抽選における当選確率を 2 倍とし、市営住宅への入居を促進することができた。

身体障害者車椅子用住宅の提供

平成 30 年 10 月に姫路市営住宅管理条例施行規則を改正し、車いす用身体障害者用住宅と身体障害者用住宅を区別した。専用住宅として募集をすることで、車いす用の市営住宅への入居の機会を増やす。

(募集実績 (延べ) 車いす用身体障害者用住宅 4 戸、身体障害者用住宅 3 戸)

身体障害者優先住宅提供における重度障害者の入居の優遇取扱い

平成 30 年 10 月に姫路市営住宅管理条例施行規則を改正し、車いす用身体障害者用住宅と身体障害者用住宅を区別した。その上で、既存住宅の 1 階部分に手すりの設置や段差解消等を施した住戸を新たに整備する。また、重度障害者の方については当選確率を 2 倍とする。

(平成 31 年度整備実績 2 戸 (保城住宅、北条住宅))

手話啓発事業

- ・子ども向け啓発用品 (下敷き) を市内の小学 4 年生へ配布
- ・子ども向け啓発用品 (クリアファイル・チラシ) の作成
- ・啓発パンフレットを各所へ配布

- ・事業者向け啓発パンフレットの作成及び配布

職員手話研修の実施

入庁3年目（平成29年度採用）の事務職採用職員に対し職員手話研修を実施（28名）

市議会での手話通訳（配置日数12日、配置時間63時間9分）

ろうあ相談室の設置（相談件数 11,207件）

(2) 安全・安心の確保

施策

- ・防災体制の整備
- ・防犯体制の充実
- ・消費者トラブルの防止
- ・夜間等における緊急連絡体制の確保
- ・緊急通報への対応力の向上

施策内容・実績（令和元年度）等

姫路市防災訓練の実施

令和元年11月10日に総合防災訓練を実施。要援護者を含む住民の避難訓練を実施し、さらにその要援護者をサブ会場である福祉避難所への搬送する訓練を実施した。

姫路市安全安心市民大会（市民と警察の集い）を開催した。

日時：令和元年11月19日、参加人数：約800人

消費生活に関する講座、啓発イベントの開催

FMゲンキにおいて、消費生活センターの啓発番組を制作・放送した。

「消費者トラブル最前線！こちらは姫路市消費生活センターです」

5分番組（毎月4回放送、年48回、年24テーマ）

NET119緊急通報システムの利用促進

（令和元年度登録数・・・19人 全登録数99人）

FAX119の実施

（受信状況・・・緊急受信1件、間違い・テスト等56件 合計57件）

(3) 情報提供の充実

施策
<ul style="list-style-type: none">・情報提供アクセシビリティの充実・障害福祉サービス事業所に関する情報提供の充実（★）・障害福祉分野の人材確保のための情報提供の充実（★）
施策内容・実績（令和元年度）等
<p>点字・声の広報等発行事業の実施 点字・声の議会報による情報提供により、視覚障害者の社会参加を支援した。（定例会4回と臨時会1回分発行）</p> <p>令和元年9月24日に姫路市公式ウェブサイトをリニューアルし、サイトの全てのページにおいてアクセシビリティに対応した。</p> <p>障害福祉サービス事業者情報等の公表促進 紙提供の事業所一覧にQRコードをいれ、提供月以降もネットから最新の情報を入手しやすくした。ネット環境がある方には、紙媒体によらず最新の情報を入手しやすくする手段の追加、ネット環境がない方には、郵送交付を行うことにより事業所情報の情報公開を充足させている。</p>

(4) 権利擁護の推進

施策
<ul style="list-style-type: none">・障害に対する理解促進（★）・成年後見制度の活用促進（★）・虐待防止への対応強化・差別解消の推進（★）・福祉サービス利用援助事業*の周知、活用・選挙等における配慮
施策内容・実績（令和元年度）等
<p>障害者差別解消法に関する市政出前講座を7回実施した。</p> <p>ルネス花北芸術祭の開催 令和元年11月2日～4日で開催。来場者数815人、展示作品130作品を展示した。</p> <p>ルネス花北公開セミナーの開催 12月8日に開催し、公開セミナーは延べ32回目となる。（参加者317人）</p>

ルネス花北夏期講座の開催

ルネス花北基礎講座に名称変更し、障害者支援1回、障害児支援2回の計3回実施した。

- (1) 6月16日(日) 「成人への支援の実際」 参加者62名
- (2) 7月28日(日) 「肢体不自由児への支援の実際」 参加者68名
- (3) 8月18日(日) 「発達障害児への支援の実際」 参加者181名

成年後見支援センター事業の充実

- ・成年後見支援センター事業の推進
(相談件数・・・知的障害者168件、精神障害者62件)
- ・権利擁護フォーラムの開催
- ・親族後見人向け研修の開催
- ・市民後見人等養成研修の開催
- ・市民後見人フォローアップ研修の開催

成年後見制度利用支援事業の充実(審判の請求:1人、報酬の助成:2人)

障害者虐待防止センターの設置(通報、届出件数:54件 ※うち虐待が認められた件数:8件)

投票環境の整備

平成31年4月に執行の兵庫県議会議員選挙及び姫路市議会議員選挙・姫路市長選挙、令和元年7月に執行の参議院議員通常選挙において、スロープが必要な投票所に新たにスロープを購入した。

点字投票・郵便等による不在者投票の周知

広報ひめじ7月号及びホームページに、代理投票・点字投票・郵便による不在者投票制度を掲載した。

音声版の選挙公報の送付

「音声による選挙のお知らせ」について周知に努め、選挙時に希望者に送付した。